

## 学習発表会を実施 ～表現力が高まりました～



11月27日(水)、学習発表会を実施しました。この発表会は「総合的な学習の時間」で学んだ内容や高めた力を発表することで表現力を高めることを目的としています。1年生は「郷土学習」をテーマに6班に分かれて、ふるさと五島の食べ物や生き物、イベント、文化、観光、歴史など調べた内容を発表しました。分かりやすい説明と視覚的効果を意識したスライドで立派な発表内容でした。

2年生は「キャリア学習」をテーマに地元での職場体験や修学旅行先(職業体験施設)での体験を通して学んだことや感じたことを個人で発表しました。「職場体験を通して礼儀が身に付いた」「どのような仕事においてもあいさつと笑顔が大切だということが分かった」という言葉が印象的でした。多くの発表を聞くことで多様な職業観や勤労観を深めることができたと思います。



3年生は12班に分かれて、「福祉学習」をテーマに高齢者や障がいを持つ方々の生活、認知症や少子高齢化、バリアフリーなどについて、「比較」や「関係づけ」を意識した分かりやすい説明で後輩の模範となりました。本校が目指している「伝える力の育成」の成果が発揮された優秀な発表は、表現力を高めるという目的を十分に達成できたと感じています。

## 富中生の輝き ～文化面も頑張っています～

### 第43回富江文化祭 ～展示部門で参加しました～

11月9日(土)～10日(日)、富江町公民館を会場に5年ぶりとなる富江文化祭が開催されました。演芸の部では地域の方々による日本舞踊や琴の演奏、コーラス、富江小5・6年生の富小ソーランが披露され会場を盛り上げました。富江中学校は書道などの展示部門に参加しましたが、来年は演芸の部にも出演できるよう努力したいと思います。



### 長崎県中学校総合文化祭 ～3名が入賞～



長崎県中学校総合文化祭は「県内すべての中学生を対象に学校や郡市の枠を超えて、文化系の部活動や教科等の学習成果を発表、鑑賞、交流する場を提供する」を目的としており、今年度は松浦市で開催されました。五島市は展示部門で参加しましたが、富江中学校からは国語部門で久保さん、今村さん、美術部門で川口さんが入賞しました。

## 税の作文コンクール ～福江青色申告会会長賞～

11月26日（火）、税についての作文コンクールで「福江青色申告会会長賞」を受賞した前島さんを表彰するため、関係者の方々が来校されました。前島さんは、社会を明るくする運動弁論大会に続く受賞となりました。今後も持ち前の文章力を生かして様々なコンクールに挑戦してほしいと思います。



## 武道を通して相手を尊重する姿勢を身につける



保健体育科の授業において武道に取り組んでいます。武道に積極的に取り組むことを通して、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることを目的としています。本校では、田中信孝先生による剣道(2年)や長崎県空手道連盟の中平良一先生による空手道(1・2年)を学びました。相手を尊重する姿勢がそれぞれの部活動や日頃の生活に生かされることを願っています。

## 生徒会役員選挙告示

11月12日（火）に生徒会役員選挙が告示され、9名の生徒が立候補を表明しました。生徒用玄関には候補者のポスターが掲示され、選挙戦がスタートしています。立会演説会及び投票については12月6日（金）に実施され、結果は12月9日（月）に発表されます。



## 富江中学校 HP 「連絡 site」 を登録しませんか

富江中学校のホームページ内に「富江中学校連絡サイト」を新設しました。学校行事や部活動の大会日時等をお知らせしていきます。左のQRコードをスマホ等で読み込んで登録してみませんか。よろしくお願いします。

### 12月の主な行事

1	日	鬼岳マラソン	14	土	五島市バスケットボール新人大会（市民体育館メイン）
4	水	人権集会・映画ケアニン上映	11	11	五島市バレーボール新人大会（市民体育館サブ）
6	金	生徒会役員選挙	15	日	九州交響楽団クリニック（吹奏楽部：文化会館）
7	土	英語スピーチコンテスト	17	火	全校体育（陸上元日本代表、荒尾将吾氏来校）
8	日	八朔ロードレース大会	21	土	ウインターカップ（長崎市：女子バレー）
13	金	授業参観、学年学級 PTA	24	火	終業式（給食なしで下校）
14	土	ロボコン九州大会			

☆12月4日（水）は只狩荘のご厚意により、人権集会の中で認知症と介護福祉士を題材にした映画『ケアニン』の上映会を実施します。この映画鑑賞を通して、生徒たちが人権と福祉について深く考える機会になればと願っています。

☆12月17日（火）はアスリート派遣事業で、陸上元日本代表の荒尾将吾氏が来校され体育授業に参加します。生徒たちが、トップアスリートとの直接的な触れあいを通して、運動することの喜びを実感してほしいと願っています。